



# 知教労ニュース

発行 知多地方教職員労働組合(知教労)

〒475-0929 半田市仲田町1-18 Tel&Fax 0569-24-5216

HP: <http://www.chikyoro.ikaduchi.com/> e-mail: [chikyoro@oboe.ocn.ne.jp](mailto:chikyoro@oboe.ocn.ne.jp)

## 問題か? 見える!?

今年も教育全国署名(通称三〇〇〇万署名)の活動が始まりました。日本の教育予算が先進国の中では最低レベルであり、また愛知県の教育予算をみると全国でかなり下位であることを知っていますか。

### はじめてよう! 署名活動

知教労は今年度も教育全国署名に取り組みます。この署名は、あいち公立高校父母連絡会、名古屋市高等学校教職員組合、愛知県高等学校教職員組合と愛教労(愛知県教職員労働組合)の各団体が取り組んでいるもので、三十人学級の実現など、子どもたちにゆきとどいた教育を求める請願署名です。

文科省は来年度、平成二十一年度より中学校一年生での三十五人学級の導入を決めています。小学校の三年生における三十五人学級導入には言及していません。学力テストに毎年九十億円もの国費を導入するならば、それに見合った改善措置として少人数学級の推進と教職員配置の充実を進めていくのが道理です。

### 教育費の負担が増大

高校・大学に進学する子どもたちにも、現在大きな障害が立ちはだかっています。ある中学校教師は「公立高校に進学したいという希望が多いが、成績のふるわない生徒はどうしても私立・専修学校を進めることになる。ところが、専修学校になると入学時に数十万円、場合によっては百万円近くの金額を準備しなくてはならなくなり、合格しても行けなかったり経済的に続かなかつたりすることもある。むしろ以前に比べて経済的に苦しい家庭が増えたというのが印象で、進路指導をする

たびに胸が痛む想いだ」と言います。大学ともなれば、私立大学では半期で百万円を超えることも珍しくなく、二人子供がいて大学まで行かせるには相当な負担が予想されます。少子化の影響もあって、学校の側も生徒が集まらないという状況が生まれ、経営自体が悪化している学校もあります。年収が五百万円を下回る家庭に対して国が授業料を負担していく制度の実施が求められるところ

です。

### やめてほしい 予算のへんな使い方

ところが、政府は『構造改革路線』と称し、民生予算の切捨て、『民営化』を推し進めてきました。その結果、今ではOECDの中でも三十九国中二十九位と最低水準の最低レベルの国になっています。少子化問題や学力水準の低下が議題にあがる中で、税金の使われ方が逆立ち状態になっているところが問題です。

今回の自民党総裁選挙でも、候補者たちの主張は、構造改革路線の推進か、消費税導入かといったどちらにしろ民生にしわ寄せをせまるものに終始している感があります。与党内から出たいわゆる『埋蔵金』に代表される「特別会計」の使い道、道路特定財源などの使い道、防衛予算削減などの「聖域」には誰も何も触れない状態が続いています。

政治家や官僚の特権にはあくまで固執し、大企業との癒着した政治構造を変えず、教育などの将来を見越した投資には目もくれない政治では日本はますます落ち込むばかりでしょう。署名では、他に就学援助制度・授業料減免制度の充実や、障害児教育の充実を訴えています。ぜひ、署名にご協力ください。

## 教育委員会との話し合い開始! 五市五町全ての教委と より良い教育条件をもとめて!

九月一六日(月)、知教労が美浜町教委との話し合いを行った。知教労役員・組合員と山田道夫教育長らが一時間あまり、美浜町の小中学校におけるさまざまな教育条件について、具体的に話し合った。このなかで児童生徒の作品募集は、各学校の裁量で取捨選択すればよいことや、管理職によるパワハラなどがあれば情報を伝えてもらえば対処するということなど、身近な問題で具体的な回答が得られた。

知教労では、法令上の「交渉」という形をとらず、「話し合い」という形式で例年折衝を重ねている。制約がない分、本音の要求が出せる場であり、各教委からもていねいな回答を得られている。知教労では、一〇月末をめどに、知多半島五市五町すべての教委と話し合いをもち、具体的な要求をもとに、教育条件整備を求めていくことになる。

## 北から南から ～～ 支部だより ～～

